

学びを通じたステップアップ支援促進事業 中間報告会 開催報告

【開催日時】：令和2年11月26日（木）16時~17時30分

【開催方法】：オンライン開催

【開催概要】：

文部科学省では平成29年度から、高校中退者等を対象に、高等学校卒業程度の学力を身に付けさせるための学習相談・学習支援を行うモデル構築を行うことを目的に「学びを通じたステップアップ支援促進事業」を実施しています。

本年度（令和2年度）は高知県、札幌市、島根県益田市の3自治体に事業委託し、特に訪問型支援の活用や、ICTを活用した学習支援など、様々な状況に置かれております高校中退者等に対して、より個に応じた丁寧できめ細かな相談・学習支援を進めるためのモデル開発を行っております。

今回の中間報告会は今年度、受託頂いている3自治体より、進捗状況の報告を行っていただくとともに、オンラインで開催する利点を活かし、聴講者として33の自治体・団体にもご参加頂き、高校中退者等への支援を行う機運の醸成を図ることを目的に開催しました。

【発表資料】：

3自治体の発表資料をHP上に掲示。

【実施状況等に関する質疑内容（抜粋）】：

- Q. 中退者の把握をしていくために、取組まれていること、工夫していることなどを教えてください。
- A. 県教育委員会と学校が連携し、保護者や本人から「個人情報票」や「同意書」を提出していただく事で、情報収集をしやすくし、支援のアプローチにつなげている。
- Q. タブレット学習の導入状況について教えてください。
- A. LINE を学習支援に活用している。YouTube の動画を学習に活用することもある。
そのほかに Zoom を使って学習をすることにも取り組んでいる。
- Q. 中退しそうな生徒を捕捉した後、生徒本人が事業を利用してくれるための工夫を教えてください。
- A. 様々な工夫をしているが、その中で一番効果があるのは、「相談に来てほしい」ではなく、「ボランティアで人手が足りないから手伝って」と誘うやり方。一日2,000円くらいの有償ボランティアとして関わってもらい、清掃作業などの中で役割を担っていく事を通じて生徒に成功体験を経験させることで、支援スタッフと生徒の関係を構築につなげている。

【当日の様子】

ICT を活用し、全国からご参加・聴講頂きました。

